

豪州の1-3月期の実質GDPは市場予想を上回る

- 豪州の1-3月期実質GDPは前期比+1.0%へ加速し、市場予想を上回る。前年比では16年4-6月期以来の高い伸び。
- 1-3月期は輸出の拡大、政府消費の高い伸び、投資の回復などが成長を下支え。民間消費は精彩を欠く結果に。
- 豪州の雇用環境の改善傾向や4月の小売売上高の回復を考慮すると、4-6月期以降、民間消費は回復へ。
- 1-3月期は豪州準備銀行(RBA)の想定を上回る成長に。RBAの中立的な金融政策を見直す議論に繋がる可能性。

豪州の1-3月期の実質GDPは市場予想を上回る

豪州の2018年1-3月期の実質GDPは前期比+1.0%と、2017年10-12月期の前期比+0.5%から伸び率が加速し、市場予想(前期比+0.9%)を上回りました。

また、実質GDPの前年比は+3.1%と2016年4-6月期以来の高い伸びとなり、同じく市場予想(前年比+2.8%)を上回る結果となっています(図1)。

輸出や政府消費、投資などが成長加速を下支え

GDPの需要項目の内訳を見ると、2018年1-3月期の成長加速は資源を中心にした輸出の拡大(前期比+2.4%)、政府消費の高い伸び(前期比+1.6%)、総固定資本形成の回復(前期比+0.5%)などに支えられました(図2)。

一方、1-3月期の民間消費の伸びは前期比+0.3%へ鈍化し(2017年10-12月期は前期比+1.0%)、民間消費は精彩を欠く結果となりました。

もっとも、豪州の雇用環境が改善傾向にあることや、4月の小売売上高が前月比+0.4%と回復を示していることから、4-6月期以降は民間消費の回復が期待されます。

1-3月期のGDPはRBAの経済見通しを上回る

また、今回の1-3月期の豪州の実質GDPは、豪州準備銀行(RBA)が2018年5月に公表した経済見通しを上回りました。RBAの経済見通しでは、豪州の実質GDP成長率は2018年末から2019年にかけて3%を上回る水準へ回復すると予想されていましたが、1-3月期の実質GDP(前年比+3.1%)はRBAの想定よりも早い段階で3%台の成長を回復する結果となりました(図3)。

RBAが今後、豪州景気の拡大に対する自信を深めれば、現行の中立的な金融政策姿勢を見直す議論に繋がる可能性もありそうです。

図1: 豪州の実質GDP成長率

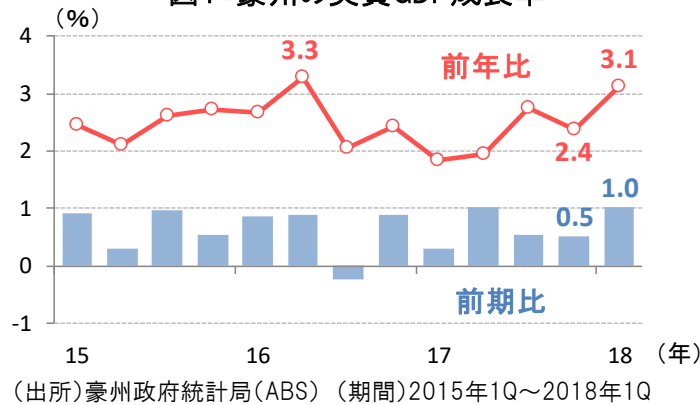


図2: 豪州の実質GDP成長率(需要項目別)

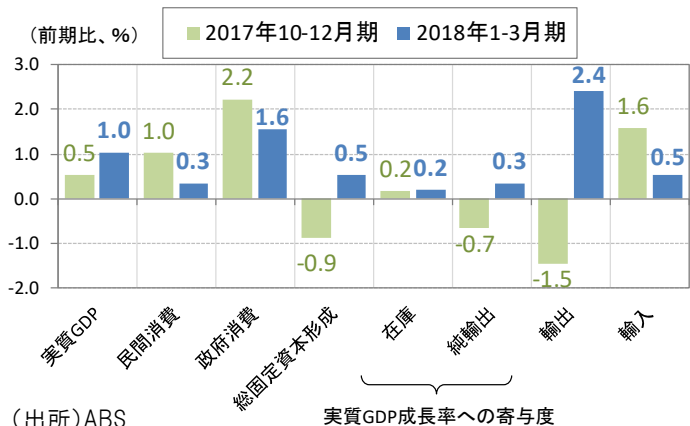


図3: 豪州の実質GDP成長率の実績とRBA予想



●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。